

change is fun!

～しなやかさと向上心を持って～
笑顔がみたいから



〒294-0014千葉県館山市山本1155番地

TEL : 0470-25-5111 (代表)

WEB : www.awaiyo.jp

人に寄り添う。
地域を支える。

安房地域医療センターの医療ソーシャルワーカーの使命は、「患者さまの望む人生の実現」。社会福祉法人が運営する地域の中核病院として、いつでもどんな状況でも、患者さま・ご家族に寄り添い、望む生活の実現を目指し、最適な医療・福祉を提供します。

安房地域医療センター 医療・福祉相談室

地域医療を支える中核病院

超高齢社会における地域連携推進！

千葉県南部に位置する安房地域は、高齢化が進む医療・介護ニーズの高い地域です。私たちは、患者さまと密接に関わる医療ソーシャルワーカーとして、地域の関係機関と連携し急性期医療の推進はもとより高齢・独居・貧困対策等に取り組んでいます。社会福祉事業として無料低額診療事業を実施し、地域の医療セーフティーネットを構築しています。

多職種と連携強化

よりよいチーム医療を目指す！

医師・リハビリ・病棟看護師・薬剤師・退院支援看護師・医療ソーシャルワーカーが定期的カンファレンスを行うことで、積極的なコミュニケーションを図り、チーム医療の連携強化に繋がっています。また、他の部署との勉強会を通じて相互教育に力を入れています。



安房地域医療センター 医療・福祉相談室の特色として、「無料低額診療事業」「高齢者住宅の相談事業」を展開しています。患者さま・相談者さまの人生の伴走者として寄り添いながら、時には生活困窮・多重債務・人生の終末期に関する相談を行っています。医療現場だけではなくスピード感で経験を積むことができます。

メンバーインタビュー 1

先輩も後輩も、助言・指導しあう職場

患者さまの様々なご相談にのる私たちソーシャルワーカーは、時々困難なケースにも出会います。そんな時はチームで解決。困ったときにすぐに相談。一人で抱え込まない、ミーティングでは「個人を責めない」「次に生かす」のが決まり事です。専門職として、チームメンバーとして何でも話し合える職場環境にしたいと考えています。



センター長 香田さん

メンバーインタビュー 2

家族を大切にしながら仕事も励む

太陽会は福利厚生も充実しています。通勤手当、家賃補助、家族手当も。私は育児休暇を取得しました。法人内ではまだ男性の取得は少ないようですが、体制を整えてくれました。他のメンバーも家族の都合などで急にお休みすることもあります。チームの理解と協力もあり乗り越えています。普段からの情報共有が大事だと感じています。



MSW 田中さん

安房地域総合相談センター構成
社会福祉士5名
退院支援看護師1名
事務1名
(2022年3月現在)

現在、相談センターのメンバーの半分は子育て世代。育児休暇や時短勤務など、制度利用しやすい環境です。また、ワークライフバランスもみんなで考え、チームで業務に取り組んでいます。

学びの機会

院内・院外の研修が充実！

病院内の職員研修をはじめ、系列の亀田グループの合同研修、地域の研修や学会にも積極的に参加しています。また、専門職として、職員向けに勉強会や研修を開催し、職員のスキルアップにつなげています。



医療ソーシャルワーカーとして

なりたい自分をイメージしながら！

相談室に配属されるとまず、当院の新人研修に加え、連携病院である亀田総合病院の初任者研修にも参加します。そこで基礎知識をしっかりと学んでから業務につきます。その後は、当院で臨床経験を通し、先輩ソーシャルワーカーからポジティブなアドバイスやスーパービジョンを受けられます。様々な視点から考えられるソーシャルワーカーを目指します。



メンバーインタビュー 3

台風災害やコロナ禍で学んだこと

私が入職した2018年は、ちょうど相談センターに退院支援看護師が配属され、病院として退院支援を強化しようという変化の時でした。2019年の「令和元年房総半島台風」では、患者さまも私たち職員も被災者となりながらの業務で、相談室は、被災職員家族の支援などにも携わり、皆で支え合いながら乗り越えました。そして2020年からはCOVID-19の流行。様々な場面で臨機応変な対応を求められ、病院内だけでなく行政や地域の機関との情報共有の重要性などを学ぶことができました。また、働く中で初めて知る地域の課題もたくさんありました。超高齢化社会の真ただ中にあるのが医療・福祉だと感じて日々業務に取り組んでいます。



MSW 川名さん

